

山形県山形市「山形国際ドキュメンタリー映画祭」

山形国際ドキュメンタリー映画祭事務局長：高橋卓也

1) 東日本大震災によって、活動に何か影響がありましたか？

幸いにも、現時点では活動や業務に支障の出るようなことはありませんが、福島第一原発の現状によって、風評被害などが拡大し、海外からのゲスト招へいや、映画祭への参加者数に影響が出る可能性があります。今後、風評や差別を乗り越え東北へ!!という呼びかけを強化してゆきたいと思います。

2) 震災地域への支援について、既に実施したことや今後の予定、やりたいことなどがありましたら、お書きください。

当法人では震災後 4 月初旬より、山形県内の避難所での被災者向け上映会を、機材等を持ち込んで進めています。また、5 月連休中から宮城県石巻の被災地・避難所での移動上映会を皮切りに、他の被災地に出向いてのボランティア映写を始めました。この動きを広い被災エリアに長期的に続けて行く為、日本映画界の良心と実動を結集させられるような仕組み作りに取りかかっています。また、山形県内の芸術系大学の学生にも手伝っていただき、被災地の子供たちと、がれきから拾ってきた物でキャラクターを作り、コマ撮りで短編映画を作るといったプロジェクトも始めています。今年 10 月の山形映画祭で発信できればと考えています。